

# 車内事故防止キャンペーンについて

## キャンペーンの主旨

バス車内事故は、バス事故全体の約3割を占めており、年々増加傾向にあることから、その対策が急務となっている。

この車内事故については、65歳以上の高齢女性が全体の過半数を占めているなかで、利用者側の事故原因として、バスが停留所に着いて完全に停止する前に降車を開始することや発車直後に席の移動等走行中の車内移動に起因するものが多くを占めている。

一方、運転者側の事故要因として、乗客が着席する前に発車することに起因するものが挙げられる。

このため、利用者に対する特に乗降時における事故防止の啓発運動を行うとともに適正な運転動作の励行を徹底し、車内事故防止を図るため、下記キャンペーンを実施する。

## 記

I. 実施期間 令和元年7月1日～7月31日(1ヶ月間)

## II. 重点項目

1. ゆとり乗降(バスが停車してから離席する。)の啓発。

- ・停留所に接近した時は、乗客の有無に拘らず速度をおとす。
- ・降車合図があった時は、できるだけマイクで「ハイ、つぎとまります」と対応し室内ミラーで車内状況を確認して、衝撃を与えないよう静かに停車すること。尚、止むを得ず停留所より離れた位置で停車しなければならない時は、事前に車内マイクで案内すること。

2. ゆとり運転(乗客が着席してから発車する。)の励行。

・ドア操作の時期

(ドア開操作)バスが停留所に完全に停車した後にドア開閉操作をすること。

**(ドア閉操作)前ドア:降車客が完全に降り、かつバスから離れたのを確認した後にドア閉操作をすること。**

**中(後)ドア:乗車客が完全にステップから車両床面にあがりきったのを室内ミラー等で確認し、さらに左バックミラーで車外に乗車しようとするお客様がいないことを確認した後にドア閉操作をすること。**

**(注)お体の不自由な方や高齢者が乗車した場合は、室内ミラー等で車内の状況を常に確認把握していること。降車合図があった時は、「バスが停まってから、席をお立ち下さい。」と車内放送されるが、危険と思われる場合は、必要に応じてマイクで注意案内を実施すること。**

### **3、貸切バスでのシートベルト着用の徹底**

- ・着用案内及び着用の確認**
- ・DVD使用の励行**

**以上**